

住んでよかった 住んでみたい町



2004
(平成16年)

1

広報 せいだん

題字は直原玉青氏



南あわじ市誕生へ合併調印 三原郡の歴史に新しいページ

十二月六日、三原郡生活文化会館で合併協定調印式が行われ、協議会委員や各町の議員、各種団体役員ら約二百五十名が見守るなか、長江和幸西淡町長、金山和永緑町長、中田勝久三原町長、森紘一南淡町長が合併協定書に調印しました。
詳しくは四ページをご覧ください。

今月の主な内容

新年のあいさつ
町政ニュース
せい太くんのフォトトピックス
西淡町合併史
診療所だより

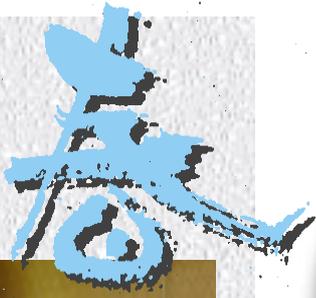
(この用紙は再生紙を使用しております。)

編集・発行 西淡町企画政策課 〒656-0393 兵庫県三原郡西淡町湊90-1 TEL.0799-36-3311 FAX.0799-36-3997

ホームページアドレス <http://www.town.seidan.hyogo.jp/> メールアドレス info@town.seidan.hyogo.jp



新年のごあいさつ



西淡町長
長江 和幸



本年もよろしく
お願いいたします。

町長

長江 和幸

助役

祖山 進司

収入役

済藤 孝信

教育長

曽根 繁樹

職員 一同

明けましておめでとうございませう。
新しい年を迎えて、皆様とお祝いできますことは、誠に喜ばしい次第であります。旧年中は行政各般につきまして格別のご理解・ご協力を賜りましたことに心から敬意と感謝の意を表します。また、昨今の厳しい社会・経済情勢の中にあつて、次世代を担う西淡町の子どもたちが様々な部門で素晴

らしい活躍をし、明るい話題を提供してくれたことに感謝申し上げます。

今年も申年です。「猿」と言うのと、昔から猿真似とか猿芝居とか言われて、他人の真似をすることの代名詞になっていますが、考えてみれば、私たちが小さい頃、言葉を覚えることから始まり、学校に学び成長してきた過程は、ほとんど先人の経験を真似る動作が多いわけ、これによって基礎を固め、更に自身自身の創意工夫を生み出すのですから、真似といつて馬鹿にするわけには参りません。「学ぶ」は「真似ぶ」から謙虚な気持ちにたつて、各方面で独自性を発揮して活躍している方が多いと思ひます。仕事に、勉強に、また教養にスポーツに、若い方々から先輩の方々まで、今年も元気に励んで頂きたいと思ひます。

さて、行政合併につきましては、昨年十二月六日に四町合併協定調印式がとり行われ、十二月定例議会の初日九日に合併関連議案の議決を頂きました。合併の期日である平成十七年一月十一日まで、あと一年、今

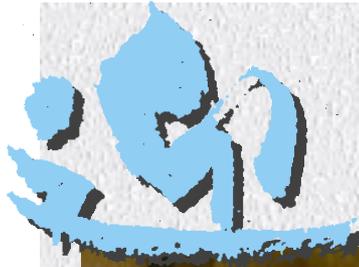
年限りとなりました。私自身、三十九歳で就任して以来、皆様に育てられながら行財政運営を行つて参りました。今年ももう五十一歳を迎える年となりました。西淡町長としては最後の予算編成を行うわけですが、自分に与えられた責任はきつちりと果たし終えたいと決意も新たにしているところでございます。また「南あわじ市」が元気に誕生し、健やかに成長して行くためにも、現町政に対しての一致団結したご理解・ご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、新しい年が皆様にとりまして「幸多からん」年になりますようご祈念申し上げます。年頭にあたりましてのごあいさつに代えさせていただきます。





2004年



西淡町議会議長

菅 歳 美



議会議長

菅 歳美

議会副議長

畑野 良道

議会議員

川上 命

竹中 和夫

楠 和廣

松尾 巖

道上 義治

楠 直茂

岡本 務

大住 逸朗

中嶋 良一

馬詰 修

三原賀代子

町民の皆様には輝かしい新年の幕開けを迎えられましたことと、お慶び申し上げます。平素は西淡町議会に対しまして、温かいご理解と絶大なご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、本格的な地方分権時代に入った今、国においては厳しい財政的事情の中にあつて、長引く経済不況による雇用不安、急速に進む少子高齢化社会への対応、行財政改革等、多くの問題

に直面し、三位一体の改革等々を行うなどしておりますが、抜本的な方策は見出せない状況であります。地方財政においても同様であり、いまだかつて経験したことのない新たな事態に日々直面しており、まさに行政の真価が問われる時代であります。

三原郡においては、早くから度重なる合併協議を行い、あらゆる分野の数々の重要項目について合意に至ったことから、各町の各地域において住民説明会を催し、住民の理解が得られたため、昨年十二月六日には新市の合併調印式が行われ、九日にはこれを承認する郡四町の議会の議決が一斉に行われたところであります。これにより、来年の一月十一日には、愈々、待望の南あわじ市が発足することになります。

新世紀にふさわしい期待される新市、南あわじ市はどのような姿・形であるのか、更に、この新市をどのようにして充実し、強化していくか、そのことを見出す為、今一度、熟慮し実効あるものにする必要があるのではないのでしょうか。そ

れが私達に課せられた責務であり、後世に対する責任でもあると思えます。

新市発足となりますと、西淡町がなくなるわけですが、それまでに克服すべき多くの課題を抱えております。名は消えても西淡町の足跡、これまで先人達が築いて来た四十七年余のはかり知れない数々の財産をどのようにに残していくかも大きな課題であります。これらのことと共に行政需要はその量、質とも益々複雑多様化し誠に厳しいものがあり、住民の多種多様な価値観に対応するため、行政も議会もこれまで以上に知識と柔軟な姿勢が求められていくことは言うまでもなく、最後の英断が必要な本年であります。

私も議決機関といたしましては、より豊かな住みよい町づくりをめざして、これからの一年さらに英知を結集して創意工夫を積み重ね、町民皆様方のご期待に応えるよう決意も新たにしておりますので、どうか本年も相変らぬご理解とご支援ご協力を賜りますよう心からお願ひ申し上げます。新年のご挨拶といたします。

町政ニュース その一



握手をかわす4町長と藤本副知事(中央)

三原郡四町、合併協定に調印

平成十七年一月十一日に新市「南あわじ市」を目指す三原郡四町の合併協定調印式が、十二月六日、三原郡生活文化会館大ホールで行われました。

四町長が協定書に調印後、藤本和弘副知事と固い握手。歴史的瞬間に、会場の参加者からも大きな拍手が起りました。

平成十七年一月十一日に新市「南あわじ市」を目指す三原郡四町の合併協定調印式が、十二月六日、三原郡生活文化会館大ホールで行われました。十二月九日に各町で開かれた議会で、合併に関する町の廃置分合等四議案が可決し、十二月十八日に県知事へ合併申請書を提出。今後、県議会の議決を受けて合併を決め、総務大臣に届けることとなります。

町政ニュース その二



津井浄化センター完成予想図

津井地区下水道整備に向け 浄化センター建設工事が起工

津井地区の公共下水道処理施設「津井浄化センター」の建設工事にあたり、十一月二十七日に現地に関係者ら約四十人が出席し、安全を祈願しました。

同地区千八百人のし尿と生活排水を対象にした「特定環境保全公共下水道事業」は、今年度事業採択を受け、工期が二十一年度までの予定。また、十七年三月

末から一部供用開始する予定で、今年一月から管路工事が行われます。

同浄化センターは約五千二百平方メートルで、淡路瓦が葺かれた二階建ての管理汚泥棟を建設。一日約七百七十立方メートルの汚水が処理されることとなります。

※これからの管路工事等にご理解・ご協力よろしくお願いたします。

ご意見箱コーナー

今回は、十一月に「ご意見箱」へ寄せられたご意見・ご要望について回答いたします。

Q1 慶野松原交通公園に街灯をつけてください。暗くて遊べません。

A1 点灯時間を早くしました。遊具の使用のための照明は、今後検討いたします。

Q2 伊毘から阿那賀に向かう道路沿いに、ゴミの投棄が増えていきます。タンス等の粗大ゴミもあり、今後不法投棄がされないか心配です。淡路島南インターをおりてすぐのところなので、観光客か

らもイメージが悪いと思います。

A2 ご意見のあった道路は県道で、兵庫県が管理することになっていきます。淡路県民局洲本土木事務所に対し、早急に清掃するようお願いしました。

町行政に関するご意見やご要望は、役場玄関にある「ご意見箱」または電子メール (info@town.seidan.hyogo.jp) にお寄せください。



▲ゴミが散乱している状況

町職員の給与の公表

(12月号の続き)

西淡町の
ラスパイレース指数 **98.3**

*ラスパイレース指数とは、国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するもので、国を100とした場合の当町の給与水準値を示すものです。